

人文学研究科のアドミッション・ポリシー（博士前期課程）

求める人材像

大阪大学のアドミッション・ポリシーのもとに、人文学研究科は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、伝統的かつ最先端の人文学の知見や、言語と文化に関する高度な専門性と深い学識、教養・デザイン力・国際性を身に付け、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

入学者選抜の基本方針

上記の人材像に合う学生を適正に選抜するために、人文学研究科の5専攻（日本学専攻は各コース）の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。また、社会科学や自然科学の分野の学生、留学生や社会人にも広く門戸を開いています。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

大阪大学のアドミッション・ポリシーにもとづき、かつ本研究科の特質にしたがって、各専攻（日本学専攻は各コース）のもとで、修学・研究に対する能力・適性を考査し、選抜します。

各専攻のアドミッション・ポリシー（博士前期課程）

■人文学専攻

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「人文学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学部又は大学院の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

入学者選抜の基本方針

上記の人材像に合う学生を適正に選抜するために、学位プログラム「人文学」では、一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生選抜を実施します。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

一般選抜では、哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける研究に必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性などを判定する口頭試験により選抜します。

社会人特別選抜では、社会人としての経験や学問的業績を加味して専門的知識、研究能力および適性

を判定のうえ選抜します。

外国人留学生選抜では、本学における修学および研究に必要な日本語能力、専門的知識、研究能力および適性を判定のうえ選抜します。

■言語文化学専攻

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「言語文化学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学位プログラム「言語文化学」は、多角的な視点からグローバル社会が直面する課題の解決に貢献しうる人材として、次のような人を求めています。

- ・ 言語文化に関する最先端かつ高度な専門性、深い学識、教養、デザイン力、国際性を身につけようとする意欲に溢れている人。
- ・ 既存の学問領域にとらわれず、幅広い視野と柔軟な発想力に裏付けられた思考力を有している人。
- ・ 世界の諸地域・諸民族の相互理解を成り立たせるために、それぞれの言語や文化を適切に理解し尊重する姿勢と、言語や文化の差異を越えてコミュニケーションを図るための熱意と資質を持ち合わせている人。
- ・ 言語文化に関する本質的かつ複雑多様な課題を自ら発見し、解決の道筋を構想する豊かな想像力と実現力を備えている人。
- ・ 言語文化の成り立ちに対する鋭い洞察力と、得られた知見を多様な情報手段によって自ら発信しようとする積極性を備えている人。

入学者選抜の基本方針

学位プログラム「言語文化学」は、多様な学生を募るための適切な選抜方式（原則として筆記試験及び口述試験による）を採用しています。また、総合的・領域横断的な言語文化研究を重視するため、人文学だけでなく、社会科学や自然科学の分野の学生、また留学生や社会人に広く門戸を開いています。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

博士前期課程の入学試験は、夏季と冬季に2回行われます。夏季試験では、研究計画概要、カリキュラム・ポリシーに掲げた各履修分野に関する論述問題、外国語問題を含む履修分野共通の問題を課すとともに、口述試験を行い、ディプロマ・ポリシーに掲げる「学習目標」を達成するために必要な、以下の項目について、入学前に修得しているべき能力を判定します。

- ・ 入学までに言語および文化に関わる科目を履修している。
- ・ 特定の研究テーマについてデータや文献などの資料を収集・分析することができる。
- ・ コンピューターを使った言語情報処理やデータの統計処理についての基礎的知識を有する。
- ・ 留学生はN1相当の日本語運用能力を有する。
- ・ 言語や文化の差異を越えてコミュニケーションを図るための言語運用能力を習得している。
- ・ 日本及び国際社会の言語文化事象に関して、興味・関心及び教養を有している。
- ・ 言語、文化、教育、メディア、翻訳等に関する理論の基礎的知識を有する。

- ・言語文化に関する研究をするための方法論についての基礎的知識を有する。

冬季試験では、夏季試験と同様に研究計画概要、各履修分野に関する論述問題、履修分野共通の問題を課すと同時に、外国語を必須解答問題とし、さらに口述試験を行い、ディプロマ・ポリシーに掲げる「学習目標」を達成できるための上記の項目について入学前に修得しているべき能力を判定します。冬季試験では、外国語を必須解答問題とすることによって、夏季試験とは異なり、高度なコミュニケーション能力を持つ学生に門戸を開いています。

■外国学専攻

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「外国学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学位プログラム「外国学」は、各コースで次のような人材を求めています。

- ・地域文化研究コース（アジア・アフリカ言語文化コースおよびヨーロッパ・アメリカ言語文化コース）では、特定地域の言語（中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、ドイツ語、デンマーク語、スウェーデン語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語）の専門的知識を身につけ、その言語あるいは言語圏の文化と社会に関する先端的研究、具体的には個別言語を対象にした言語学（語史や音韻、形態、統語、語用等の分析など）、各言語圏の文学（小説・演劇・詩等の文化表象の分析など）、各言語圏の歴史、社会、政治経済（社会の動態と構造の分析など）を扱う学問の先端的研究を実践する研究者をめざす学生を求めています。また、世界の諸地域の言語や文化に関する高度の教養を身につけ、国際舞台で活躍するグローバル人材となることをめざす学生を求めています。
- ・高度専門職業人コース（英語教員リカレント・コースおよび中国語教員リカレント・コース）では、中等教育の現場における英語および中国語の教育に役立てるため、それぞれの言語の高度な専門的知識とその言語圏の文化と社会に関する高度な教養を身につけようと望む現役教員を学生として求めています。

入学者選抜の基本方針

学位プログラム「外国学」は、専攻する外国語の高度な言語運用能力を持つ多様な学生を募るための適切な選抜方式（原則として筆記試験及び口述試験による）を採用しています。また、博士前期課程に入学するためには、上記の特定地域の言語とその言語圏の文化と社会について、本学外国語学部の卒業生と同等の学力を有することが求められます。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

上記のような学生を募るため、夏季と冬季の年2回に分けて、次のような選抜試験を行います。

- ・研究活動に資する言語運用能力の高さを確かめるための「言語」の試験（社会人・外国人留学生を除く）

- ・研究活動の基盤となる専門知識を確かめるための「専門科目」の試験（高度専門職業人コースを除く）
- ・専門分野の知識や研究計画等を確かめるための口述試験

■日本学専攻

<基盤日本学コース>

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「基盤日本学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学部又は大学院の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、現代日本学、日本史学、考古学、日本文学・日本語史学、基盤日本語学の各分野における十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

入学者選抜の基本方針

上記のような学生を適正に選抜するために、一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生選抜を実施します。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

1. 一般選抜では、現代日本学、日本史学、考古学、日本文学・日本語史学、基盤日本語学の各分野における研究に必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性などを判定する口頭試験により選抜します。
2. 社会人特別選抜では、社会人としての経験や学問的業績を加味して専門的知識、研究能力および適性を判定のうえ選抜します。
3. 外国人留学生選抜では、本学における修学および研究に必要な日本語能力、専門的知識、研究能力および適性を判定のうえ選抜します。

<応用日本学コース>

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「応用日本学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学位プログラム「応用日本学」では、日本語・日本文化領域の教育研究に強い関心を持つとともに、日本語・日本文化を世界の諸言語・文化の中で相対的に捉え、理解しようとする比較対照的視座をもった思考力に優れた人材を広く世界に求めます。将来、国内外の高等教育機関等で、比較日本学、応用日本語学、日本語教育学の各分野における教育者や研究者を目指す人、海外協力機関や国際機関で日本語・日本文化の発信のために必要な企画・立案・交渉・運営等を行う専門職業人を目指す人、また日系企業等を活動の場として、日本と世界の国々との懸け橋となることを目指す人々の入学を期待しています。

入学者選抜の基本方針

学位プログラム「応用日本学」の入学試験は、大阪大学で受験する人を対象とした実践トラック（4月入学）と、外国人留学生を対象とし、海外からの受験を可能とする専修トラック（10月入学）とに区分して実施します。いずれのトラックにおいても、比較日本学、応用日本語学、日本語教育学の各分野において研究を遂行するのに必要な専門的知識と方法論的知識、および資料収集・分析の能力を判定するための試験を行います。なお、実践トラックでは、一般選抜、社会人選抜、外国人留学生選抜を実施します。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

1. 実践トラックの一般選抜では、上記の知識・能力を考査する筆記試験に加え、外国語能力を考査する筆記試験、および研究能力、意欲、適性などを判定する口述試験により選抜します。
2. 実践トラックの社会人選抜と外国人留学生選抜では、上記の知識・能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性などを判定する口述試験により選抜します。
3. 専修トラックでは、提出書類（小論文、研究計画を含む）の審査に加えて、上記の知識・能力を考査し、研究能力、意欲、適性などを判定するために、Eメール等によるリモートインタビューにより選抜します。

■芸術学専攻

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「芸術学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学位プログラム「芸術学」は、芸術学の諸領域についてみずから深い関心をもって主体的に学び、独創的かつ高度な研究を志す人、また、その学びを社会の様々な領域において活用しようとする人を、学生として求めます。

入学者選抜の基本方針

学位プログラム「芸術学」では、大阪大学、および人文学研究科のアドミッション・ポリシーにもとづき、芸術学領域を構成するアート・メディア論、美学・文芸学、音楽学・演劇学、日本東洋美術史・西洋美術史の4コースの修学・研究に対する能力・適性を考査し、選抜します。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

試験は以下の方法により、芸術学研究に意欲的な人を受け入れます。

博士前期課程の一般選抜では、各コースにおける研究に必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性などを判定する口頭試験により選抜します。

社会人については、上記の課程において、社会人としての経験や学問的業績を加味して専門的知識、研究能力および適性を判定する社会人特別選抜を実施します。

留学生については、上記の課程において、修学および研究に必要な日本語能力、専門的知識、研究能力および適性を判定する外国人留学生選抜を実施します。

人文学研究科のアドミSSION・ポリシー（博士後期課程）

求める人材像

大阪大学のアドミSSION・ポリシーのもとに、人文学研究科は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、伝統的かつ最先端の人文学の知見や、言語と文化に関する高度な専門性と深い学識、教養・デザイン力・国際性を身に付け、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

入学者選抜の基本方針

上記の人材像に合う学生を適正に選抜するために、人文学研究科の5専攻（日本学専攻は各コース）の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。また、社会科学や自然科学の分野の学生、留学生や社会人にも広く門戸を開いています。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

大阪大学のアドミSSION・ポリシーにもとづき、かつ本研究科の特質にしたがって、各専攻（日本学専攻は各コース）のもとで、修学・研究に対する能力・適性を考査し、選抜します。

各専攻のアドミSSION・ポリシー（博士後期課程）

■人文学専攻

大阪大学および人文学研究科のアドミSSION・ポリシーのもとに、学位プログラム「人文学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミSSION・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学部又は大学院の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、哲学、グローバルヒストリー・地理学、文学、比較・対照言語学の各コースにおける十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

入学者選抜の基本方針

上記の人材像に合う学生を適正に選抜するために、学位プログラム「人文学」では、一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生選抜を実施します。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

一般選抜では、博士の学位をめざす上で必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性、研究実績などを判定する口頭試験により選抜します。

社会人特別選抜では、社会人としての経験や学問的業績を加味して専門的知識、研究能力および適性を判定のうえ選抜します。

外国人留学生選抜では、本学における修学および研究に必要な日本語能力、専門的知識、研究能力および適性を判定のうえ選抜します。

■言語文化学専攻

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「言語文化学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学位プログラム「言語文化学」は、多角的な視点からグローバル社会が直面する課題の解決に貢献する人材として、次のような人を求めています。

- ・言語文化学に関する修士学位取得相当の基礎的な知識を有する人。
- ・言語文化に関する最先端かつ高度な専門性、深い学識、教養、デザイン力、国際性を身につけようとする意欲に溢れている人。
- ・既存の学問領域にとらわれず、幅広い視野と柔軟な発想力に裏付けられた思考力を有している人。
- ・世界の諸地域・諸民族の相互理解を成り立たせるために、それぞれの言語や文化を適切に理解し尊重する姿勢と、言語や文化の差異を越えてコミュニケーションを図るための高度な言語運用能力を持ち合わせている人。
- ・言語文化に関する本質的かつ複雑多様な課題を自ら発見し、先行研究を踏まえつつ解決の道筋を構想する研究能力を備えている人。
- ・言語文化の成り立ちに対する鋭い洞察力と、得られた知見を多様な情報手段によって自ら発信する情報処理能力を備えている人。

入学者選抜の基本方針

学位プログラム「言語文化学」は、多様な学生を募るための適切な選抜方式（原則として筆記試験及び口述試験による）を採用しています。また、総合的・領域横断的な言語文化研究を重視するため、人文学だけでなく、社会科学や自然科学の分野の学生、また留学生や社会人に広く門戸を開いています。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

博士後期課程の入学試験は、冬季に行われます。入学試験は、研究計画概要、論述問題（外国語問題）を課すとともに、口述試験、そして修士論文等の応募論文の審査を行い、ディプロマ・ポリシーに掲げる「学習目標」を達成するために必要な、以下の項目について、入学前に修得しているべき能力を判定します。

- ・入学までに博士前期（修士）課程で言語および文化に関わる科目を履修している。
- ・コンピューターを使った言語情報処理やデータの統計処理をする能力を身につけている。
- ・高度な言語運用能力を有している。
- ・言語文化に関する基本的な学識と研究能力を有している。
- ・国際化・情報化の進展する現代社会に深い関心を寄せ、それぞれの言語や文化を適切に理解し尊重しようとする姿勢を有している。
- ・言語文化に関する専門分野について、自ら課題を設定し、先行研究を踏まえつつ研究を展開することができる。
- ・自分の専門分野について、論文を執筆することができる。

- ・研究発表をするためのプレゼンテーション能力を身につけている。

■外国学専攻

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「外国学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学位プログラム「外国学」は、特定地域の言語（中国語、朝鮮語、モンゴル語、インドネシア語、フィリピン語、タイ語、ベトナム語、ビルマ語、ヒンディー語、ウルドゥー語、アラビア語、ペルシア語、トルコ語、スワヒリ語、ロシア語、ハンガリー語、ドイツ語、デンマーク語、スウェーデン語、英語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語）の専門的知識を有し、その言語あるいは言語圏の文化と社会に関する先端的研究、具体的には個別言語を対象にした言語学（語史や音韻、形態、統語、語用等の分析など）、各言語圏の文学（小説・演劇・詩等の文化表象の分析など）、各言語圏の歴史、社会、政治経済（社会の動態と構造の分析など）を扱う学問の先端的研究を実践するに十分な資質をもつ学生を求めています。

また、世界の諸地域の言語や文化に関する高度の教養を身につけ、国際舞台で活躍しうるグローバル人材となることをめざす学生を求めています。

入学者選抜の基本方針

学位プログラム「外国学」は、専攻する外国語の高度な言語運用能力を持つ多様な学生を募るための適切な選抜方式を採用しています。また、博士後期課程に入学するためには、上記の特定地域の言語とその言語圏の文化や社会について、本研究科博士前期課程修了者と同等の専門的知識と言語運用能力を有することが求められます。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

上記のような学生を募るため、年1回、次のような選抜試験を行います。

- ・研究活動に資する言語運用能力の高さを確かめるための「言語」の筆記試験
- ・専門分野の知識や研究計画等を確かめるための口述試験

■日本学専攻

<基盤日本学コース>

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「基盤日本学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学部又は大学院の教育課程等における学修を通して、確かな基礎学力、現代日本学、日本史学、考古学、日本文学・日本語史学、基盤日本語学の各分野における十分な知識及び主体的に学ぶ態度を身につ

け、自ら課題を発見し探求しようとする意欲に溢れる人を受け入れます。

入学者選抜の基本方針

上記のような学生を適正に選抜するために、一般選抜・社会人特別選抜・外国人留学生選抜を実施します。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

1. 一般選抜では、博士の学位をめざす上で必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を
 考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性、研究実績などを判定する口頭試験により選抜します。
2. 社会人特別選抜では、社会人としての経験や学問的業績を加味して専門的知識、研究能力および適
 性を判定のうえ選抜します。
3. 外国人留学生選抜では、本学における修学および研究に必要な日本語能力、専門的知識、研究能力
 および適性を判定のうえ選抜します。

<応用日本学コース>

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「応用日本学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学位プログラム「応用日本学」では、日本語・日本文化領域の教育研究に強い関心を持つとともに、日本語・日本文化を世界の諸言語・文化の中で相対的に捉え、理解しようとする比較対照的視座をもった思考力に優れた人材を広く世界に求めます。将来、国内外の高等教育機関等で、当該領域における教育者や研究者を目指す人、海外協力機関や国際機関で日本語・日本文化の発信のために必要な企画・立案・交渉・運営等を行う専門職業人を目指す人、また日系企業等を活動の場として、日本と世界の国々との懸け橋となることを目指す人々の入学を期待しています。

入学者選抜の基本方針

学位プログラム「応用日本学」では、国内外から多様な人材を集めるため、大阪大学で受験する人を対象とする4月入学と、外国人留学生を対象とし、海外からの受験を可能とする10月入学に区分して入学試験を実施します。いずれの試験においても、日本語及び日本文化を世界の諸言語・文化・社会の中で相対的にとらえる比較対照的視座、自身の専門分野において博士の学位を目指すうえで必要な高度な専門的知識と方法論的知識、自律的に研究を行う能力、論述能力、外国語能力を判定するための試験を行います。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

1. 4月入学の選抜では、上記の知識・能力を考査するための筆記試験と、研究能力、意欲、適性などを判定する口述試験により選抜します。
2. 10月入学の選抜では、提出書類（小論文、研究計画を含む）の審査に加えて、上記の知識・能力を考査し、研究能力、意欲、適性などを判定するために、Eメール等によるリモートインタビューにより選抜します。

■芸術学専攻

大阪大学および人文学研究科のアドミッション・ポリシーのもとに、学位プログラム「芸術学」は、教育目標に定める人材育成の方針に沿って、次のとおり、アドミッション・ポリシーを定め、入学者を受け入れます。

求める人材像

学位プログラム「芸術学」は、芸術学の諸領域についてみずから深い関心をもって主体的に学び、独創的かつ高度な研究を志す人、また、その学びを社会の様々な領域において活用しようとする人を、学生として求めます。

入学者選抜の基本方針

学位プログラム「芸術学」では、大阪大学、および人文学研究科のアドミッション・ポリシーにもとづき、芸術学領域を構成するアート・メディア論、美学・文芸学、音楽学・演劇学、日本東洋美術史・西洋美術史の4コースの修学・研究に対する能力・適性を考査し、選抜します。

具体的選抜方法と、資質・能力との関係

博士後期課程の一般選抜では、博士の学位をめざす上で必要な専門的知識、外国語能力、思考力および論述能力を考査する筆記試験と、研究能力、意欲、適性、研究実績などを判定する口頭試験により選抜します。

社会人については、上記の課程において、社会人としての経験や学問的業績を加味して専門的知識、研究能力および適性を判定する社会人特別選抜を実施します。

留学生については、上記の課程において、修学および研究に必要な日本語能力、専門的知識、研究能力および適性を判定する外国人留学生選抜を実施します。